

Sonus faber®

MINIMA AMATOR
II

ELECTA AMATOR
III

HERITAGE
COLLECTION



■最先端のドライバー設計

“Electa Amator III”は、初代“Electa Amator”のウェルバランスな2ウェイ2スピーカー・リアバスレフ設計を受け継ぎ、クラシカルなデザインを取って踏襲しながらも、最先端仕様のドライバーユニットを搭載しています。たとえば28mm口径ソフトドームツイーターは、今日のソナス・ファベールのスピーカーシステムのスタンダードとなっているアローポイント“D.A.D”(ダンプト・エイベックス・ドーム)ですが、ダンパーには初代で鮮烈な印象を与えた3本脚タイプを採用しています。ソフトドームの頂点をわずかにダンピングすることで位相特性を最適に制御する先進の仕様と、スピーカー史に燦然と輝くモデルのたたずまいが、ここではみごとな融合を見せています。

また、ツイーター背面には、内部で複雑な音響迷路を形成する専用の木製チェンバーを設け、透明でありながら力感のある、高純度な高域再生に寄与しています。

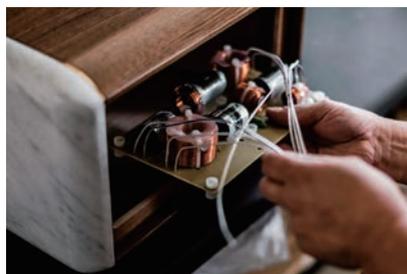
“Electa Amator III”では、初代“Electa Amator”の香り高く艶やかな中・低域の再現性をより今日的に受け継ぐ一方、口径を180mmとして、パワフルでタイトな、濁りのないパフォーマンスと、広帯域にわたる高い分



28mm口径アローポイントD.A.D
音響迷路チェンバー付きソフトドーム型ツイーター

カスタムメイド180mm口径
ミッドウーファー

解能を發揮します。そのダイアフラムには、自然乾燥させたセルロース・バルブを使用。いっさいのカラーレーションと無縁の、あくまでナチュラルなその再現は、まさに自然素材ならではのです。



■最適化されたクロスオーバー設計

2ウェイ構成ならではのシームレスな音のつながりとエネルギーバランスを担うクロスオーバー・ネットワークは、“Aida II”や“Homage Tradition”などに採用された“バラクロス・トポロジー”に基づき、振幅・位相特性を最適化しています。もちろん、専用パーツを厳選の上、試聴を繰り返してしてマウントされており、振動要因による音楽信号への影響を最小化するために最適化された設計になっています。

▶カラーラ産大理石をベースに使用したスタンド“Carrara Stand”が標準付属。



ELECTA AMATOR

III

名品“Electa Amator”の理想を受け継ぎ、
研鑽の粋を注ぎこんだ、新たな世代



Carrara Standが付属します。

■名品のエッセンスを継承

1987年、北イタリアの小さなスピーカー工房から送り出された“Electa Amator”は、瞬く間に世界のオーディオファイルを魅了し、稀代の名品として、ソナス・ファベールの名を一躍高からしめました。

ウォルナット材を、さながら工芸品の如く寄せ木構造として精緻に組み上げ、かつフロント/リアバツフルをブラックレザーで包み込むという、他に類を見ない格調高いスピーカーデザインは、それ以降、世界に数多くのフォロワーも生み出し、ブックシェルフ型のまったく新しい地平を切り開きました。

しかも、その優雅なデザインが単なる意匠を超えて、確かな音響学的知見をふまえた必然の帰結であることが知られるに及んで、ソナス・ファベールのスピーカー哲学には、さらに多くのオーディオファイルから、熱い視線が送られるようになりました。

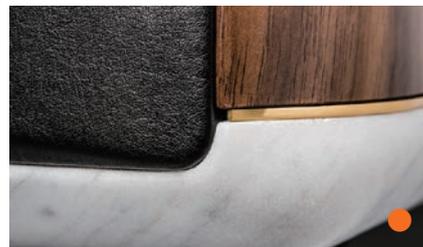
■異種素材の交響と調和

ブックシェルフ型スピーカーの歴史に革新をもたらした、この“Electa Amator”の登場から30余年、ソナス・ファベールは、この間に重ねてきた技術的研鑽を惜しみなく適用して、この名品の新たな世代、“Electa Amator III”を生み出しました。

初代同様、ウォルナット無垢材をもとに曲面を多用したそのエンクロージャー設計には、堂々たる風格と、木材やレザーという異種素材

それぞれの特性を活かす卓越のクラフトマンシップが美しく調和しています。

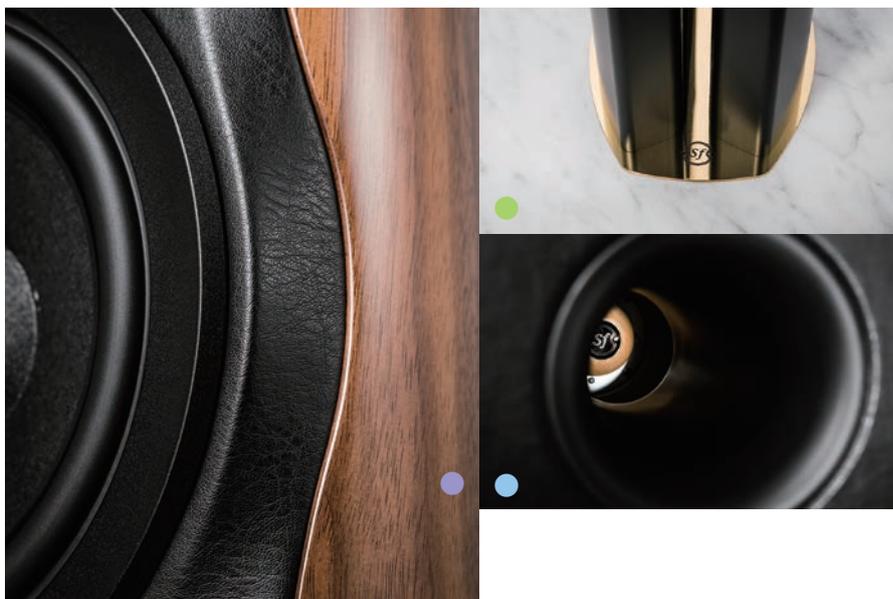
異種素材を大胆に組み合わせてエンクロージャーの剛性を総合的に高める伝統的手法は、近年のソナス・ファベールのスピーカーにおいてさらなる進化を続けていますが、“Electa Amator III”では、底部に大理石を組み込む、さらに新たなコンセプトを導入しました。



使用しているのは、古代ローマの昔から、大理石の産地として名高い北イタリア カッラーラ産の白大理石。ミケランジェロのダビデ像やギリシャのパルテノン神殿にも使われたこの美しく貴重な素材が、ソナス・ファベール工房での成型と入念な研磨を経て、スピーカーの新たな名品における不要振動の吸収・分散という重要な役割を担っています。

さらに、“Electa Amator III”では、木材と大理石の間に真鍮製プレートを挟み込んで振動要素の分散を図ることで、金属素材をも調和的に融合。まさに、今日のソナス・ファベールの設計理念を体現しています。

●曲面を多用して音波回折などを排除する設計と優雅なフォルムを両立 ●大理石製の底部とエンクロージャーの間に挟み込んだ真鍮製プレートも振動要因の分散に寄与 ●大理石製のスタンド底部にも真鍮製プレートをインサート ●大口径のリアバスレフポートが、ダイナミックな音楽再現に貢献



MINIMA AMATOR

II

創業者も愛した“Minima”の魅力を 最新の技で再構築した、新たな傑作

■愛され続ける名作

1990年、ソナス・ファベールは、名品“Electa Amator”の系譜に小型スピーカーの新たな傑作を加えました。その名は“Minima”。

“小さな”を意味するその名称通り、“Electa Amator”を一回り小さくしたサイズながら、クラフトマンシップの粋を集めた寄せ木構造や鋭角を排した優雅なスタイリング、木材とブラックレザーの対照がもたらす格調の高さは、ソナス・ファベールの優れたデザイン感覚をあらためて世界に印象づけました。

シンプルな2ウェイ構成による音の一体感、そしてサイズを超えた豊かなスケール感と朗々たるソノリティゆえに、創業者であり設計者であるフランコ・セルブリン自身も、格別の愛着を持っていたと伝えられます。

また、今日のソナス・ファベールを支えるデザイナー、パオロ・テツツオンが若き日に初めて購入し、愛聴したスピーカーも、この“Minima”でした。

1993年には、110mm口径ミッドウーファーを140mmに替えて“Electa Amator”同様のフォルムを獲得した“Minima Amator”が誕生、このサイズにおける極限のダイナミズムを追求しました。

2008年、初代“Minima”の復刻モデルとして登場した“Minima Vintage”は、ウォルナット寄木構造など初代同様のデザインに、当時最新のソナス・ファベールのテクノロジーを組み込み、国内外できわめて高く評価されました。

■心に響く伝統の機能美

そして、2020年、伝統と革新を融合することで常にスピーカーの新しい歴史を創造してきたソナス・ファベールは、最新世代たる“Minima Amator II”を完成させました。

フロントバッフル、リアバッフルをブラックレザーで包み込み、無垢ウォルナット材で仕上げたエンクロージャーは、これまで同様、奥行きを絶妙な長さにチューニングすることで豊かな響きを獲得、初代“Minima”を思わせる立体的な表現力と、繊細でいて力感に満ちた音楽世界の創成に貢献しています。

耳と眼に心地よく、心の奥底に響くイタリアンデザインの妙、そして音響学に裏付けられた機能美に、あらためてソナス・ファベールを手にする喜びを感じていただけることでしょう。



■最新のカスタムメイド

“Minima Amator II”は、クラシカルなデザインの中に、ソナス・ファベールの今を体現する最新テクノロジーの粋を惜しみなく適用しています。

高域は、今日のソナス・ファベールのキーテクノロジーの一つとなっている“アローポイントD.A.D(ダンプト・エイバックス・ドーム)”に基づく28mm口径ソフトドーム。ソフトドームとリンググラジエーター、双方の利点を備えた、ソナス・ファベール独自のツイーターで、ドーム頂点をわずかにダンピングして音質を阻害する挙動を制御、どこまでも澄明で伸びやかな高域再現を可能にしています。ダンパーは、“Minima Amator”を想起させる3本脚タイプとしました。

緻密でしっかりとコクのある中・低域を表現する150mm口径ミッドウーファーは、“Minima Amator II”専用として新規に設計されたカスタムメイドとなっています。

ダイアフラムには、時間をかけて自然乾燥させた高品位セルローズ・バルブを採用、軽量でありながら分割振動等の音質阻害要因と無縁のナチュラルな再現性を発揮し、大型バスレフポート設計と相まって、コンパクト



28mm口径アローポイントD.A.D
ソフトドーム型ツイーター

150mm口径カスタムメイド設計の
ミッドウーファー

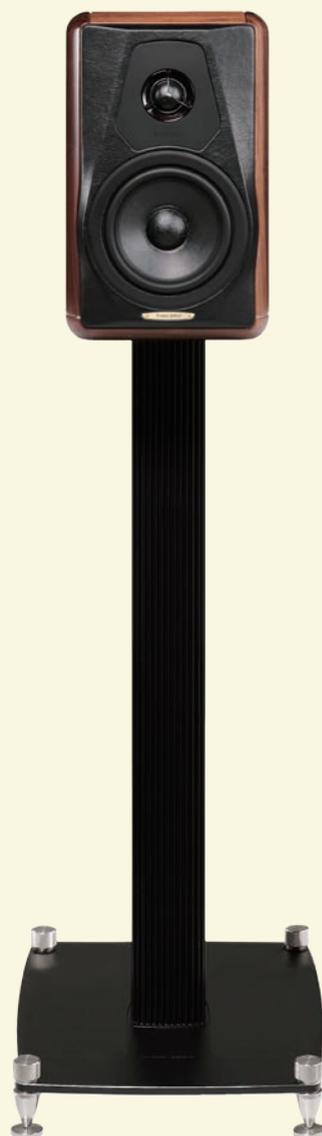
なエンクロージャーからは想像もできない、タイトでダイナミックなパフォーマンスを実現しています。

■2種類のスタンドをご用意

“Minima Amator II”には、別売りで2種類のスタンドをご用意しています。

一つは、“Electa Amator III”に付属の“Carrara Stand”。ベースに北イタリア カラー産の高品位白大理石を贅沢に使用したエレガントなスタンドです。

もう一つは、“Olympica Nova I”用の“Stand Olympica Nova”。ブラックアノダイズド・スチールを使用した精悍なデザインが魅力です。リスニングルームやご使用機器に合わせてお選びください。



Stand Olympica Nova (別売)



世界に誇る音のクオリティーは ハンドメイドへのこだわりから

“Heritage”コレクションでは、製品の開発から設計、石材の加工、木材の乾燥、エンクロージャーの組み上げ、ドライバーユニットやクロスオーバー回路の取り付けに至る、すべての工程が、イタリア北部ヴェネチア州のソナス・ファベール工房にて行われています。スピーカーのマンユファクチャリングを知り尽くしたクラフトマンによる細心の作業、ていねいなものづくりが、世界に誇る音のクオリティーを支えています。



歴史を塗りかえたソナス・ファベール

スピーカー史を革新した“Electa Amator”

1987年、ソナス・ファベールは、名品“Electa Amator”を世に送りました。木材と皮革という異種素材が織りなす、工芸品のように美しいデザイン、そして濃密で音楽性豊かな音の質。イタリアの小さな工房が手がけたその作品は翌年日本に紹介され、驚きと感動をもって迎えられました。小型スピーカーの概念に変革をもたらしたその設計思想は、1997年の“Electa Amator II”に、そして最新の“Electa Amator III”に、脈々と息づいています。

サイズを超えた表現力、“Minima”

1990年に登場した“Minima”は、小型ながらスケール感豊かな気品あふれる音の特徴とし、創業者フランコ・セルプリも個人的に最も愛用したモデルです。1993年にはミッドウーファーを140mmとした“Minima Amator”が誕生、スケール感に磨きがかかりました。2008年の“Minima”復刻モデル“Minima VI Intage”を経て、2020年に生まれ変わった“Minima Amator II”は、最新の技術的蓄積を反映して、小型スピーカーの歴史に新たなページを開きます。



Specifications

	ELECTA AMATOR III	MINIMA AMATOR II
● 形式	2ウェイ2スピーカー バスレフ方式 ブックシェルフ型	2ウェイ2スピーカー バスレフ方式 ブックシェルフ型
● 使用ドライバーユニット	高域 28mm口径 アローポイントDAD シルク・ソフトドーム型 中・低域 180mm コーン型	28mm口径 アローポイントDAD シルク・ソフトドーム型 150mm コーン型
● 周波数特性	40 ~ 35,000Hz	50 ~ 35,000Hz
● クロスオーバー周波数	2,500Hz	2,500Hz
● 出力音圧レベル	88dB/W/m	87dB/W/m
● 公称インピーダンス	4Ω	4Ω
● 出力端子	バイワイヤリング対応 (HIGH/LOW)	バイワイヤリング対応 (HIGH/LOW)
● 寸法 本体 (突起部含む)	幅233×高さ373×奥行348mm	幅200×高さ325×奥行310mm
● 寸法 スタンド装着時	幅302×高さ1,089×奥行380mm	● 幅305×高さ1,045×奥行380mm ● 幅282×高さ1,050×奥行395mm
● 重量 本体	14.8kg/本	7.1kg/本
● 重量 スタンド装着時	26kg/本	● 18.3kg/本 ● 13.8kg/本
● スタンド	Carrara Stand 付属	別売 (推奨2種) Carrara Stand, Stand Olympica Nova

● Carrara Stand 装着時 ● Stand Olympica Nova 装着時



マグネット着脱式サラネットが付属します。

● 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますのでご了承ください。
● 弊社の定める日本国内の希望小売価格に配送料は含まれません。